

カンゾウ油性抽出物

1.食品添加物名

カンゾウ油性抽出物 (Licorice oil extract)

2.基原・製法・本質

マメ科ウラルカンゾウ(*Glycyrrhiza uralensis* FISCHER)マメ科チョウカカンゾウ(*Glycyrrhiza inflata* BATALIN)又はマメ科ヨウカンゾウ(*Glycyrrhiza glabra* LINNE)の根又は根茎を水で洗浄した残渣より、室温時～温時エタノール、アセトン又はヘキサンで抽出して得られたものである。主成分はフラボノイドである。

3.主な用途

酸化防止剤

4.安全性試験成績の概要

(1)単回投与試験

急性経口LD₅₀はマウスで雄雌ともに5g/kg超と考えられる^{1),2)}。

(2)反復投与試験

F344ラットを用いた混餌(0.1、0.3、1、3%)投与による90日間の反復投与試験において、検体投与に起因する毒性学的異常は認められていない³⁾。無毒性量は最高用量である3%(1.5g/kg/day)と考えられる。

(3)変異原性試験

細菌を用いた復帰突然変異試験^{4),7)}、哺乳類の培養細胞を用いた染色体異常試験⁵⁾、細菌を用いたDNA修復試験⁶⁾、マウスを用いた小核試験⁸⁾、及び細菌を用いたumu-テスト⁹⁾の結果はいずれも陰性と判断される。

(引用文献)

1. 滝沢行雄:厚生省平成5年度食品添加物安全性再評価等の試験検査,急性毒性試験,秋田大学医学部
2. サンカノン(油溶性甘草抽出物)の急性毒性,1985年,社内データ(未公表)
3. 西村隆宏:厚生省平成9年度食品添加物安全性再評価等の試験検査,90日間投与試験,広島大学
4. 宮部正樹:厚生省平成5年度食品添加物安全性評価試験,Ames法,名古屋市衛生研究所
5. 祖父尼俊雄:厚生省平成5年度食品添加物安全性再評価等の試験検査,染色体異常試験,国立衛生試験所
6. 栗田年代:厚生省平成5年度食品添加物安全性再評価等の試験検査,Rec-Assay法,残留農薬研究所
7. サンカノン(油溶性甘草抽出物)の微生物を用いる変異原性試験,1985年,社内データ(未公表)

8. サンカノン(油溶性甘草抽出物)の小核試験,1985年,社内データ(未公表)
9. 油溶性甘草抽出物のumu-テストを用いた短期変異原性試験,1988年,社内データ(未公表)